

## 福岡みらい病院で 人工股関節置換術を受けられた患者様へ

当院リハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加して下さった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	人工股関節置換術患者における股関節周囲の筋断面積と歩行パラメータとの関連
当院の研究責任者（所属） 本研究の目的	吉居 啓幸（整形外科） 小西 将広（リハビリテーション科） 変形性股関節症患者では、歩行中に骨盤安定性の低下や姿勢の非対称性などの歩行障害を呈することが知られている。股関節周囲筋は歩行機能に重要な役割を担うが、筋形態と歩行機能との関連については十分に明らかではない。 本研究では、人工股関節置換術の術前CT画像から得られる筋断面積と術後の三次元動作解析による歩行パラメータとの関連を検討することである。
調査データ該当期間	西暦 2022年1月1日～西暦 2025年12月31日
研究方法	<b>●調査の対象となる患者様</b> ・2022年から2025年に当院で人工股関節全置換術を受けられた患者様 ・術後に歩行補助具を使用しない独歩歩行にて、三次元動作解析装置の計測が可能であった患者様 <b>&lt;歩行データ&gt;</b> 術後2週時の光学式三次元動作解析装置と床反力計にて得られた歩行データ（股関節角度や荷重量など） <b>&lt;電子カルテに記載のある診療情報&gt;</b> 診療記録をもとに、術後2週時の身体機能（関節可動域、筋力、痛みの程度）、年齢、性別、手術名、などの情報。 上記の情報は匿名化し、後方視的に解析します。
個人情報の取り扱い	対象者のプライバシーおよび個人情報の秘密を守るため、使用するデータは全て匿名化し、個人を特定できないよう配慮しています。

本研究の資金源（利益相反）	本研究の実施にあたり利益相反はありません。 研究参加による謝礼は発生しません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 整形外科・リハビリテーション科 電話：092-662-3001（代表） 研究責任者：吉居 啓幸・小西 将広